

株式会社アルプス技研

(東京証券取引所市場第一部 証券コード:4641)



2012年12月期第2四半期 決算説明会

2012年8月8日

代表取締役会長 兼 社長

牛嶋 素一

- 1. 2012年12月期第2四半期 業績の概要**
- 2. 下期の取り組み**
- 3. 2012年12月期 業績予想について**



1. 2012年12月期 第2四半期 業績の概要

【連結・個別】業績ハイライト

(単位:百万円)

【連結】	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	増減
売上高	8,331	8,578	3.0%
営業利益	438	589	34.5%
経常利益	525	613	16.8%
当四半期純利益	575	277	△51.8%

(単位:百万円)

【個別】	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	増減
売上高	7,253	7,721	6.5%
営業利益	445	591	33.0%
経常利益	512	618	20.7%
当四半期純利益	533	296	△44.4%

【連結】外部環境

1. 製造業各社の動向

- 欧州経済不安、円高等により、生産は横ばい
- 企業ごとの好不調の差が明確化
- 自動車関連、スマートフォン関連、医療関連等の成長分野においては、研究開発は引き続き堅調

2. 業界動向

- 引き続きの採用難
- 派遣法改正案が成立。顧客による派遣会社選別の動きが進展

【連結】 上期の主な取り組み

1. 売上増加に向けた施策

単価アップ

- ・3事業部制への移行による案件対応のスピード向上
- ・好調顧客への積極的なローテーション



上期で約100円の単価アップを実現

採用強化

- ・採用体制の強化、募集費倍増



- ・2012年新卒 98名採用
- ・キャリア採用は競争激化により年間目標の進捗率は40%程度

2. 技術力向上

ニーズの高い研修を強化 (HV・EV関連技術等、成長分野における先端技術研修に加え語学力向上に向けた施策を多数実施)

3. グループ戦略

グループ共同採用、新規事業創出に向けた取り組み

【連結】 損益計算書

(単位：百万円)

	2011年 第2四半期	2012年 第2四半期	増減率	前期比増減理由
売上高	8,331	8,578	3.0%	稼働率の向上、契約単価の上昇により売上増
売上原価	6,241	6,253	0.2%	稼働率向上により原価率が低下 (2011年第2Q…74.9%、2012年第2Q…72.9%)
売上総利益	2,090	2,324	11.2%	
販管費	1,651	1,734	5.0%	募集費の増加
営業利益	438	589	34.5%	
営業外収益	140	59	△58.1%	雇用調整助成金が大幅減少
営業外費用	54	35	△34.5%	
経常利益	525	613	16.8%	
特別利益	12	2	△84.2%	
特別損失	44	31	△30.4%	
税引前当期純利益	493	584	18.4%	
当四半期純利益	575	277	△51.8%	前期特殊要因(関係会社株式売却に伴う法人税等の減額(302M))

【個別】 損益計算書

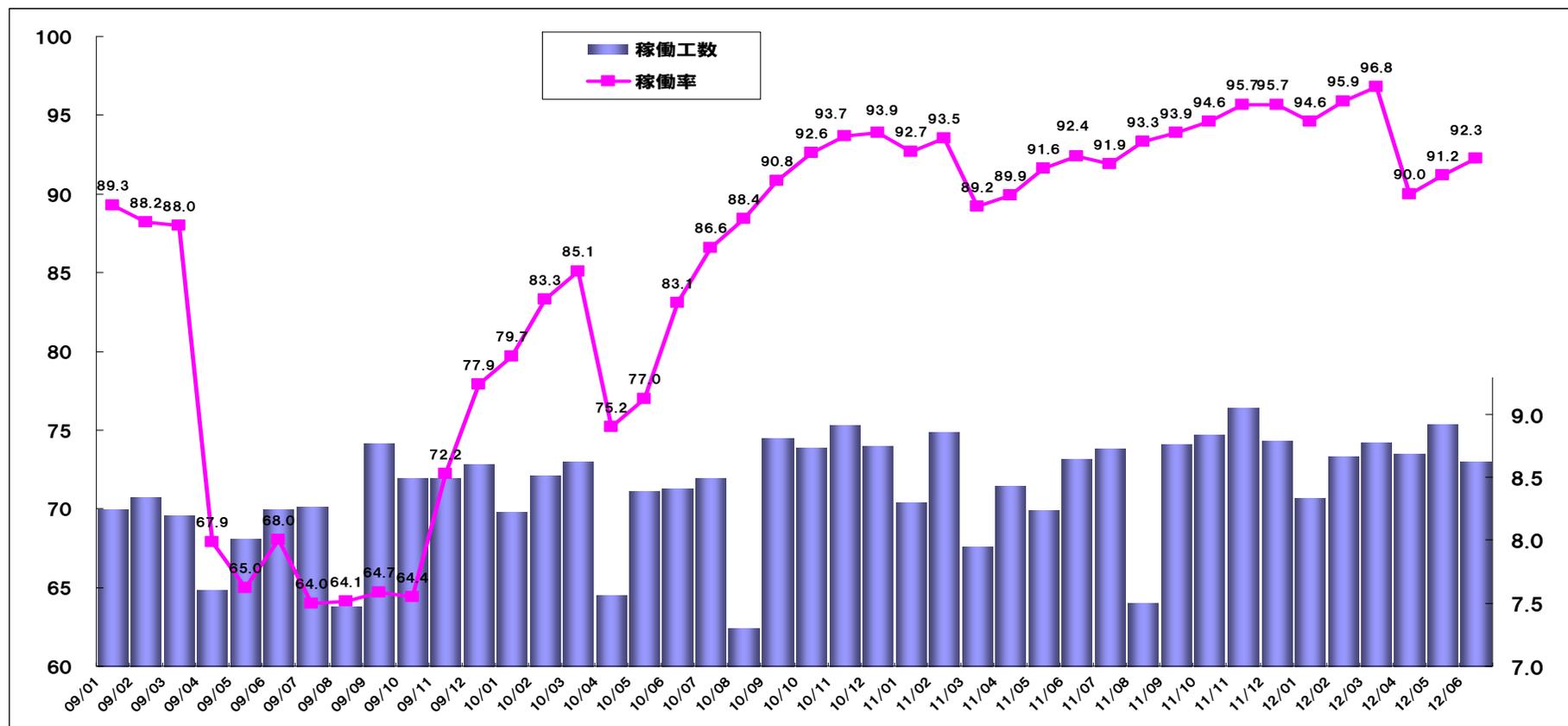
(単位：百万円)

	2011年 第2四半期	2012年 第2四半期	増減率	前期比増減理由
売上高	7,253	7,721	6.5%	稼働率の向上、契約単価の上昇
売上原価	5,312	5,533	4.2%	稼働率向上による原価率の低下
売上総利益	1,941	2,187	12.7%	
販管費	1,496	1,596	6.7%	採用強化による募集費の増加、夏季賞与原資の増加
営業利益	445	591	33.0%	
営業外収益	122	60	△50.4%	雇用調整助成金が大幅減少
営業外費用	54	33	△38.4%	
経常利益	512	618	20.7%	
特別利益	1	2	100.0%	
特別損失	67	27	△59.3%	
税引前当期純利益	445	593	33.0%	
当四半期純利益	533	296	△44.4%	前期は、関係会社株式売却に伴い法人税等が減額

【個別】稼働率・稼働工数の推移

稼働率・稼働工数の推移

※「稼働率」は、新卒を含む全社稼働率(%)、「稼働工数」は1日あたりの稼働時間(H)



稼働率 : 既存社員の稼働率は、95%超の高水準で推移。
 新卒98名入社により4月度は一時的に下降するも回復基調。
稼働工数: 概ね 8.7時間/日 程度の高水準で推移。

【個別】 主要指標の推移

(期中平均、直接社員数は期末数)

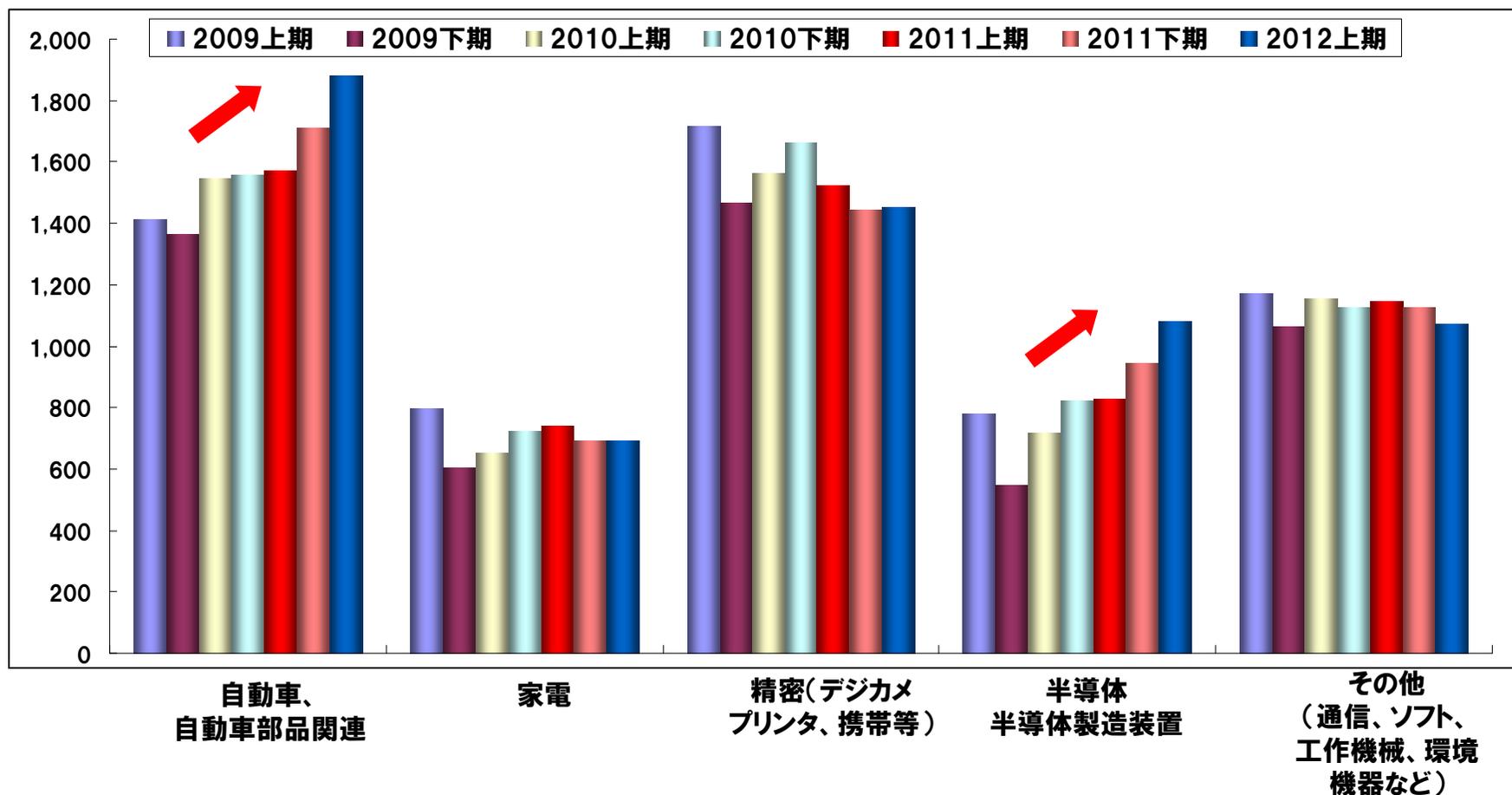
	2011年 第2四半期	2012年 第2四半期	増減
直接社員数	2,182人	2,134人	△48人
稼働率	91.6%	93.5%	1.9ポイント増
稼働工数	8.40H	8.67H	0.27H増
契約単価	3,301円	3,536円	235円

社員数: 中途採用の競争激化により社員数はわずかに減少

稼働率・稼働工数: 当初の想定を上回る高水準で推移

契約単価: 単価は過去最高水準まで回復

【個別】 売上上位100社 業種別売上高推移



- ・エコカーの開発が旺盛で自動車関連が引き続き好調。
- ・スマートフォン等のモバイル端末に関連する半導体も伸びる。

【個別】売上高上位10社

2010年度通期	2011年度通期	2012年度第2四半期
キャノン	デンソーテクノ	デンソーテクノ
デンソーテクノ	東京エレクトロンAT	キャノン
パナソニック	キャノン	日産自動車
セイコーエプソン	パナソニック	東芝
東京エレクトロンAT	セイコーエプソン	東京エレクトロン宮城
ジャトコ	パナソニック システムネットワークス	パナソニック
シャープ	シャープ	ケーヒン
パナソニック システムネットワークス	トヨタ自動車	三菱重工業
トヨタ自動車	ケーヒン	日立オートモティブシステムズ
大分キャノン	三菱重工業	トヨタ自動車
上位10社比率 34.0%	上位10社比率 31.3%	上位10社比率 27.5%

自動車関連の取引が増加傾向。全売上に占める上位10社の売上比率は下がっている。



2. 下期の主な取り組み

営業施策

顧客の選択と集中・チーム化の推進

研究開発意欲が旺盛な顧客に対する積極的なローテーションを展開
複数名派遣によるチーム化をさらに推進し、顧客とのパートナーシップを強化

採用施策

新卒・キャリアで300名採用

採用担当者の増員、募集費の大幅増、全国24拠点での採用活動の実施
により優秀な技術者を積極採用

人材育成

先端技術・語学研修

先端技術領域の研修に加えて、昨今高まりを見せている語学ニーズに
対応する教育を強化。リーダー人材育成にも注力

(株)アルプスキャリアデザイン設立

- ・技術者専門の人材紹介事業を行う100%子会社(資本金2億円)
- ・2012年8月設立予定

(株)アルプスの社による事業譲受

- ・2012年10月 有料老人ホーム等の事業譲受により業容倍増を見込む

【トピックス】派遣法改正について

2012年3月、派遣法改正案が成立。

2012年10月1日より施行。

<主な変更点>

- ・「雇用申込義務」を無期雇用の常用型派遣に限り撤廃
- ・日雇派遣に対する規制の明文化（30日以内禁止）
- ・派遣先の義務を強化

法改正自体は、当社事業運営上プラスに働く。



ビジネスチャンスとしてとらえ
事業拡大に向けての契機とする。



3. 2012年12月期 業績予想

連結・個別業績予想

※2012年8月6日修正

人が未来-Next Technology Frontier®



株式会社アルプス技研

(単位:百万円)

【連結】	実績			予想	
	2011年度通期	2012年度上期		2012年度通期	
	金額	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	16,910	8,578	3.0%	17,400	2.9%
営業利益	768	589	34.5%	1,000	30.1%
経常利益	891	613	16.8%	1,000	12.2%
当期純利益	691	277	△51.8%	510	△26.3%

(単位:百万円)

【個別】	実績			予想	
	2011年度通期	2012年度上期		2012年度通期	
	金額	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	14,881	7,721	6.5%	15,400	3.5%
経常利益	862	618	20.8%	1,100	27.5%
当期純利益	630	296	△44.4%	550	△12.8%

※業績予想の数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想と異なる場合があります。

配当基本方針

- ①連結ベースでの配当性向50%を指標とする
- ②安定配当の見地から、年間配当1株20円は堅持する



	中間配当	期末配当	年間配当
第32期配当予想	0円	24円	24円